

新年度が始まってから、あっという間に2か月が経ちました。新しいクラスにも慣れ始め、子どもたちは様々な遊びに興味をもって遊んでいます。

つき組では野菜や花を植えて水をあげながら観察したり、園庭や鷺洲上公園に遊びに行った時に昆虫や自然物などを探したりして自然に親しみながら遊ぶ姿も見られます。様々な活動を通して、子どもが夢中になれる遊びを見つけられるように子どもの興味のあることから遊びを広げていこうと思います。

自然との関わり

つき組になって初めて野菜と花を植えました。野菜の苗を見るだけで「トマトでしょ」「オクラ！」と野菜の種類を当てていました。ひまわりは種から植えて、野菜同様、自分たちで水をあげながら生長を楽しみにしています。

子どもが家庭から持ってきたカブトムシの蛹も育てました。成虫になると虫かごに移し替えて、餌をあげたり観察したりしています。「今ご飯食べてた」「戦ってる!」「ひっくり返ってるから助けないと」とカブトムシに夢中です。みんな見たい気持ちがあるからこそ、順番に並び交代しながらカブトムシと触れ合っています。



年下の友達と遊んだよ

さくら組、ぱんだ組の友達とペアになり、ふれあい遊びや園内散歩をして遊び、少しずつ親しみをもつことができました。鷺洲上公園に一緒に行った時には「気を付けてね」「大丈夫だよ」「何して遊ぶ」など相手を思いやる優しい言葉が聞かれました。



絵の具遊び

そら組と一緒に絵の具で遊びました。青系と緑系の色に分かれて、それぞれの部屋で手に絵の具をつけて紙に手形をつけたり、絵の具を塗り広げたりしました。友達の手と合わせて「何色になるかな」と絵の具の感触や混色を楽しんでいました。



チャレンジタイム

朝の30分間をそら組と一緒に様々な運動遊具で遊ぶチャレンジをしています。一本歯下駄・一輪車・ペダルローラー・竹馬など、毎日様々な遊びに挑戦しています。始めはなかなかできなかった遊びも毎日挑戦することで、少しずつできるようになる子どもが増えてきました。繰り返し遊ぶことで少しずつ「できた」という成功体験を味わい、繰り返し挑戦する意欲につながっています。



にじみ絵遊び

水のついた筆で画用紙を濡らし、そこに絵の具のついた筆を置くと魔法のように色が広がりました。「うわぁ、きれい」「魔法できた!」と浮かび上がる模様を見て楽しみました。赤のにじみ絵では誕生会のプレゼントで送るサクラランボの飾りをつくり、緑のにじみ絵では木をつくりました。一人一人個性のあるかわいらしい作品ができました。

